

令和2年度

実施状況管理シート（作成日：R3.3.19）

作業部会名	・介護サービス部会	事務局	・佐渡市 高齢福祉課
部会リーダー	・愛宕福祉会 新穂愛宕の園 久文介護課長	サブリーダー	・佐渡市社会福祉協議会 塚本常務 ・すこやか両津 村岡事務長 ・よつば福祉会 うしろやま 斎藤施設長
担当理事	・佐渡市社会福祉協議会 和田理事 ・愛宕福祉会 伊澤理事 ・よつば福祉会 山下理事長		
作業部会構成員	① 佐渡市在宅医療推進センター ② 介護支援専門員代表者 ③ 居宅介護系代表者 ④ 通所介護系代表者 ⑤ 入所介護系代表者 ⑥ 訪問看護代表者 ⑦ 佐渡地域振興局 健康福祉環境部 ⑧ 佐渡市 高齢福祉課		
部会中の会議体	・特養施設長連絡会 ・特養生活相談員連絡会 ・通所介護事業所連絡会		
目標 (ゴール設定)	・介護サービスを必要とする利用者の状態に応じて流動的に対応できる、一体的な介護サービス提供体制の構築。		
具体的な作業内容	① 各施設の機能（対応範囲）の把握と整理 (1) 施設機能の把握（医療処置に対する対応範囲や地理的な対応範囲含む） (2) 住民の介護保険に関する知識不足の解消 ② 共有すべき情報の把握と標準化 (1) 同職種間や多職種間での情報共有の場を設置（定期的な調整会議等により他施設の情報把握） ③ 施設で利用する様式の標準化 (1) 入所系施設の申請様式の標準化 (2) 入所時の様式に限らず、統一が適当と思われる様式の標準化 ④ 機能の分担・改善に向けた対策 (1) 身元引受人に関する問題の検討 ⑤ 流動的に利用者を移動する体制の検討。 (1) 特養施設の入所申込の一元化 (2) 空床情報や待機者情報の共有 (3) 利用者の流れを調整、流動的な対応の検討 ⑥ 情報共有基盤として「さどひまわりネット」の活用を検討。 (1) 在宅医療や訪問看護・介護における ICT の活用推進（在宅患者情報の見える化） (2) 「さどひまわりネットユーザー会」の運営協力		
年間計画	令和2年度	【目標】 ・施設の機能分担・機能改善を行い、ICT等を活用し流動的に利用者を移動する体制を構築し本格運用を開始する。	
	令和3年度以降		

進
捗
状
況
管
理

(平成2年4月
～
令和3年3月まで)

第1回作業部会 (2020/4/21)

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期
- ※ 事業所も新体制の状況もあり、再度の組み立て直しが必要か。

第1回作業部会 (2020/9/24)

- ・ 令和2年度の活動計画について協議。各作業の進捗状況報告・作業内容の課題整理
- ・ 体制構築に向けた協議として、介護施設における資源管理システムの運用を進めていくための体制づくり等について協議。

【各作業の進捗状況】

- ① 施設の機能（対応範囲）の把握と整理
 - ・ 医療処置等の範囲・受入れ等アンケートの実施を予定。
- ② 共有すべき情報の把握と標準化
 - ・ コロナ禍の影響で予定通りすすまず、今後どのようにして集会を開くかが課題。
- ③ 施設で利用する様式の標準化
 - ・ 老健の短期入所申請書の統一様式を作成し、老健協議会で検討中。引き続き働きかけを行う。
- ④ 身元引受人に関する問題の検討
 - ・ 「身元引受人ガイドライン」の指針を関係機関に示し、アンケートを取りまとめ完成させる。
- ⑤ 流動的に利用者を移動する体制の検討
 - ・ 本年度から特養入所申込一元化を「歌代の里」で実施。今のところ問題なく稼働。
- ⑥ 情報共有基盤として「ひまわりネット」の活用
 - ・ 「ひまわりネット」のタブレットの利用案を提示し広めていく。
 - ・ 「ひまわりネット」ユーザー会をオンラインで開催予定。